

第9章 鎌倉市環境教育行動計画

1 環境教育（目標項目⑩）

目標：意欲的に環境保全に取り組む人を育てます。

◆基本方針

持続可能な社会の形成に向けた環境教育を推進します。
自ら行動しようとする「こころ」を育てます。

持続可能な社会を構築していくためには、すべての人が様々な場所で環境保全に向けた実効性のある取組を実践することが必要であり、このためすべての人を対象とした環境教育の充実が不可欠であることから、平成 15 年に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律（平成 15 年法律第 130 号）」が制定され、平成 23 年度には協働取組の推進等を盛り込み、題名を「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」として改正されました。

自然的環境と歴史的環境に恵まれた本市では、環境に対する市民の意識が高く、幅広い分野で市民による自発的な環境保全活動が行われています。

今後は、地域の身近な環境に関する環境教育を推進するとともに、環境を軸とした成長を進める上で、環境保全活動や行政・企業・民間団体等の協働や、地球温暖化問題など地球環境を視野に入れた環境教育について、なお一層充実させることが必要です。

目標を達成するための取り組み

第1節 ライフステージに応じた環境教育の実施

主な事業	事業内容	実績
夏休み子ども向け自然観察会（少年期）【環境政策課】	環境保全の普及啓発のため、夏休み子ども向け環境学習会を開催します。	実施回数：1回 参加人数：15名（小学生11名、保護者4名）
酸性雨調査の実施（少年期）【環境保全課】	大気保全に対する意識啓発を図るため、観測調査の体験を通じた大気環境の学習を実施します。	○子ども酸性雨調査 参加校：14校 参加人数：419名
出前講座（少年期）【環境保全課、ごみ減量対策課】	小中学校の児童生徒を対象に、大気汚染やエネルギーの有効活用等、環境についての講義を実施します。	<環境保全課> ○酸性雨出前講座 受講校：2校、受講者数：83名 ○水生生物等環境調査 参加校：1校、参加人数：69名

		<p><ごみ減量対策課></p> <p>市内小中学校の児童 481 人に対し、環境教育（出前講座）を実施。</p>
<p>下水道に関する啓発活動の実施（少年期以上）【下水道河川課、浄化センター】</p>	<p>下水道事業への理解や普及の促進維持活動の充実を図るため、PR 事業を実施します。</p>	<p><下水道河川課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が独自に作成した下水道啓発ポスターを、鎌倉市立の小中学校 25 校等に掲示した。 <p><浄化センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内在住・在学の小学生とその保護者を対象に、「夏休み親子下水道教室」と題して、下水処理場の見学や簡単な水質実験等を行い、下水道事業の周知及び理解促進を図った。（参加者：児童 16 名、保護者 11 名）
<p>農業体験事業の実施（少年期から高年期）【公園課】</p>	<p>アドバイザーの派遣や都市公園での農業体験を実施します。</p>	<p>鎌倉中央公園において、（公財）鎌倉市公園協会と「山崎・谷戸の会」が協働して自然や農業に対する理解や関心を深めるため、市民を対象に農業体験を実施しました。</p> <p>田んぼ体験（4月3日～3月12日）は延べ 506 人、畑体験（4月3日～3月26日）は延べ 354 人の参加者がありました。</p>
<p>食育に関する啓発活動の充実（少年期から高年期）【市民健康課】</p>	<p>食品廃棄物の発生抑制や再生利用等の環境にやさしい「食」生活を推進します。</p>	<p>食に関する講座において、食べ残しをしないように声かけを行いました。また、片付けの際にはウエスやアクリルたわしを使用しました。</p>
<p>緑の学校（青年期）【みどり課】</p>	<p>緑の効用や仕組みへの理解を深めるため、講義や自然観察会を実施します。</p>	<p>講座を 10 回開催。 受講者数延べ数 321 名</p>
<p>緑のカーテン栽培講座（全年代）【環境政策課】</p>	<p>市民を対象にゴーヤ苗を育てて緑のカーテンを作る講座を実施し、緑化の効力を学び緑のカーテンを広めます。</p>	<p>実施回数：2 回 参加人数：84 名（1 回目：50 名、2 回目：34 名）</p>

ライフステージに応じた環境教育におけるその他取り組み

●子ども酸性雨調査

＜環境保全課＞

子どもたちが調査を通じて大気環境の実態を学習し、大気保全の重要性を理解することを目指し、市内の小中学校等を対象に酸性雨調査を平成9年度から毎年実施しています。平成28年度は、14の小中学校等、419名が参加しました。

調査の結果、酸性雨のpHはここ数年横ばいの状況が続いています。児童・生徒たちからは、「すぐにでもできる対策を常に心がけたいと思う。」「いつも降っている雨が結構酸性であったので驚いた。」などの感想が寄せられました。

酸性雨調査結果はパンフレットにまとめ、調査に参加していただいた生徒へ配布するなど環境学習の資料として使用しています。

表 9-1 子ども酸性雨調査参加者数とpH 平均値

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
参加者数(人)	794	962	479	420	419
pH 全校平均値	5.3	5.7	5.4	5.4	5.2

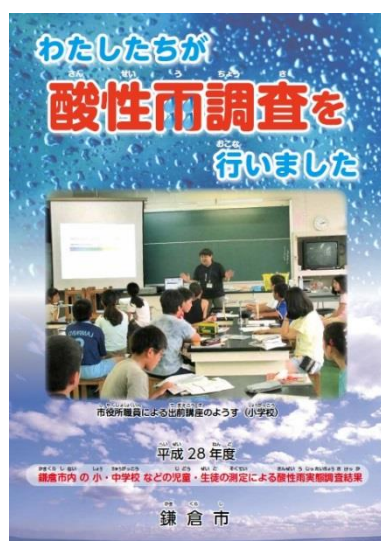


写真 9-1 酸性雨パンフレット

●環境保全に関する作品コンクール

＜環境保全課・みどり課・下水道河川課＞

夏休みの自由研究として、平成7年度から毎年、市内の小学校4～6年生と中学生を対象に環境保全に関するポスターの「作品コンクール」を実施しています。

平成28年度は「緑」（小学生4～6学年、中学生対象）と「まちの美化」（中学生対象）という二つのテーマで実施しました。応募作品（ポスター）は、緑に関するものが370点、まちの美化に関するものが236点で、その中から「緑」では41点、「美化」では、26点が優秀作品として選ばれました。

小中学生及び一般の方を対象に9月10日の「下水道の日」にちなみ、公益社団法人日本下水道協会及び(株)日本水道新聞社主催で、「下水道いろいろコンクール」が実施されました。

鎌倉市下水道週間の取り組みとして、小学生から大人までを対象に下水道の役割を知っていただくために市が独自に作成した、ポスターを鎌倉市立の小中学校25校及び4支所等に掲示しました。

●環境保全関連講座の開催

＜青少年課＞＜教育総務課＞

市民や青少年を対象に、環境保全に関心を持ってもらうため、表9-2のとおり講座を開催しました。

表 9-2 環境保全関連講座開催状況

講座名	開催期日・主催	参加者数
みちのくからの震災報告～あなたに助かってほしいから～	平成28年10月1日 玉縄生涯学習センター	64人
私たちの省エネルギー	平成28年11月19日・26日・12月3日・10日 大船学習センター	49人
東日本大震災復興・民間支援 ～会津登り窯の震災復旧に立ち上がった人々の記録～	平成28年9月7日 大船学習センター	22人
楽しい科学実験教室「地球」	11月7日(土) 玉縄青少年会館	26人

●消費生活移動教室の開催

＜市民相談課＞

身近な生活知識（食の安全、住生活、金融商品の知識など）をテーマに取り上げて、学習の場を提供しています。平成28年度に開催した環境問題に関連した教室の状況は表9-3のとおりです。

表 9-3 消費生活移動教室の概要（環境問題関連）

講座名	内 容	参加者
夏休み子ども教室 実験してみよう！台所排水の環境への影響・飲み物の甘さ	飲み残し、食べ残しによる排水が環境に与える影響を学ぶ。また、ジュースなどに含まれている糖分の量を実験によって確認する。	19人
夏休み子ども教室 あんどん作りで、LEDを学ぼう！	LED電球を使ったあんどんを作成する。 LED電球の特徴や白熱電球、蛍光灯との違いを学び、省エネに対する意識を深める。	親子15組 30人

●こどもエコクラブ

＜市民・事業者＞ ＜環境保全課＞

次世代を担う子どもたちに対する環境保全活動・学習の場として、平成7年度から環境省が主唱して都道府県や市町村との連携で始まった「こどもエコクラブ」があります。こどもエコクラブは、子どもたちが自発的に楽しく継続的な活動を行うことを目的としています。

なお、市内のクラブ数は、表9-4のとおりです。

表 9-4 こどもエコクラブ登録数

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
クラブ数	1	1	1	1
メンバー数	46 人	46 人	45 人	46 人

●学校における環境教育の取組

＜教育指導課・環境政策課＞

身近な自然環境や生活環境等に興味を持ち、環境保全に対する認識を深めたり、行動力等を身に付けたりするという、いわゆる「生きる力」の育成に視点を置きながら、地球環境の問題や、リサイクル、ごみ問題などをテーマにして、市内小・中学校において、総合的な学習の時間での環境教育・学習の充実を図っています。また、私立学校、公立高等学校においても環境教育の推進を図っています。

表 9-5 公立小・中学校における環境教育の取組

学 校 名	内 容	学 年
第一小学校	海・野山で自然と触れ合う	1～3年
	稲、野菜、花の栽培	1～5年
	環境学習（ごみとリサイクル）	3・4年
第二小学校	稲、野菜、花の栽培	1～6年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・牛乳パック）	4年
御成小学校	環境学習（ごみの分別）	全学年
	環境学習 水の学習	4年
	稲・野菜の栽培	1～5年
稲村カ崎小学校	稲・野菜の栽培	1～5年
	生物の飼育	3年
	牛乳パックリサイクル	全学年
	湧水・川・海の調査	3・4年
	地域の自然調査	3・4年
七里ガ浜小学校	生物の飼育、稲・植物の栽培と収穫	全学年
	広町の自然と触れ合う	1～5年

学 校 名	内 容	学 年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習）	4年
腰越小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	生物の飼育	3年
	上下水道について	4年
深沢小学校	稲・野菜・草花の栽培と収穫	全学年
	環境学習（酸性雨について）	4年
	環境学習（ごみ問題）	4年
	地域の自然調査	4年
	谷戸の活動	5年
小坂小学校	稲の栽培	5年
	野菜の栽培・収穫	特別支援学級
	湧き水・水の学習	3・4年
	環境学習（ゴミについて）	4年
玉縄小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	農家の訪問と調べ学習	3年
	環境学習（出前授業・ごみ問題）	4年
山崎小学校	地域の自然観察	4～6年
	稲・野菜の栽培	1～6年
	生物の飼育（カイコの飼育）	3年
西鎌倉小学校	稲・野菜・花の栽培	1・2・3・5年
	自然との触れ合い・観察	1・2年
	生物の飼育	3年
	環境学習（宮が瀬ダムほか・浄化センター・クリーンセンター見学）	4年
	ごみと水について	5年
今泉小学校	稲の栽培	5年
	野菜の栽培	2・5・6年
	環境学習（出前授業・ごみの話）	4年
	環境学習（出前授業・地球温暖化）	5年
富士塚小学校	稲・野菜・花・へちま栽培	1・2・5年
	牛乳パックリサイクル	全学年
	植物栽培、畑づくり	1・2・5年
	中央公園の自然と触れ合う	1年

学 校 名	内 容	学 年
	環境学習（水・ごみの調査・学習）	4年
	環境学習（酸性雨について）	6年
関谷小学校	牛乳パックリサイクル	全学年
	関谷川（水質調査）環境学習	6年
大船小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	環境学習（ごみについて）	4年
	水について	4年
植木小学校	稲・野菜・花の栽培	1～5年
	ごみの分別収集を通じてごみ問題を考える	全学年
第一中学校	環境学習（修学旅行やキャンプで自然や環境保全の必要性について）	2・3年
	海の教室	1年
第二中学校	グリーンコースの整備	3年
	身近な自然環境の保全活動	全学年
	作物の栽培	1年
御成中学校	学校林の手入れ	全学年
	南斜面の整備、かまくら大根の栽培（染色用）	2年・科学部
腰越中学校	作物の栽培・収穫	1年
	海や川の清掃	全学年
深沢中学校	校地緑化活動	全学年
手広中学校	エコ新聞づくり	1年
	地域清掃活動、リサイクル活動	全学年
	学校緑化・緑のボランティア	全学年
大船中学校	「郷土」をテーマとした調査・体験活動	全学年
玉縄中学校	環境をテーマとした調べ学習	1・2年
岩瀬中学校	地域の自然環境をテーマとした調べ学習	1年
	自然学習（里山の下草刈り）	3年

私立学校における環境教育の取組

学校名	鎌倉女子大学	代表者	学長 福井一光
住所	鎌倉市大船 6-1-3	TEL	0467-44-2297
FAX	0467-44-2253	担当者	学生課 林直希

取組状況 鎌倉女子大学 グリーンプロジェクト クリーンアップ隊の取組

鎌倉女子大学の学生団体であるクリーンアップ隊は、キャンパス周辺の清掃活動を平成24年から継続的に実施しています。主な活動場所は本学大船キャンパスから大船駅の間を貫く松竹通り、芸術館通り、および周辺道路と公園等です。また年に1~2回、神奈川県大船警察署の協力を得て近隣町内会等との協働による合同清掃活動（大船地区クリーンアップ作戦）も実施しています。

清掃活動時には、「防犯パトロール実施中」と書かれたタスキをかけることより、美化だけでなく安全・安心な環境となる街づくりにも取り組んでいます。

大学生活を過ごす大船地区に対する感謝の思いを環境美化という活動によって地域貢献につなげています。



学校名	鎌倉女子大学中・高等部	代表者	部長 志摩 尚平
住所	鎌倉市岩瀬 1420	T E L	0467-44-2113
F A X	0467-44-2209	担当者	中澤彩子、水上隆太、小柳まゆみ

取組状況

鎌倉女子大学中・高等部では、学校農園を活用した環境教育を平成18年から行っています。28年度もサツマイモ、ジャガイモ、ダイコンなどの作物栽培に挑戦し、農園で育てた作物を自分たちで調理して食べる活動を通して、「命を頂く」ということの本当の意味を学びます。

作物を食害する害虫対策としては、木酢液や竹酢液を使用し無農薬栽培を心がけています。また土に触れ自分たちの手で耕す中で、土壌の分解を担うミミズなどを見ることも貴重な経験となります。このように、作物栽培の初めから終わりまでの一連の過程に携わることで、作物栽培の大変さや収穫する喜びを味わうことができます。



ジャガイモの土寄せ



サツマイモの収穫



サツマイモの調理



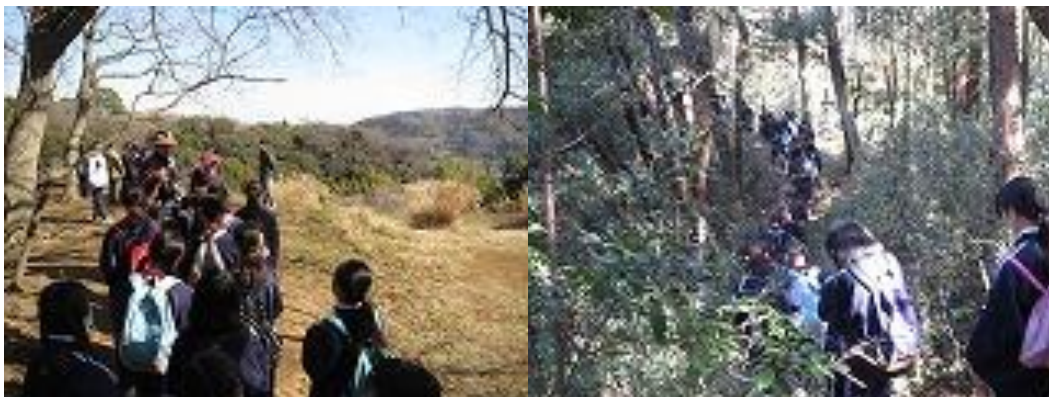
ダイコンの間引き

学 校 名	北鎌倉女子学園中学校高等学校	代表者	瀧本 聡
-------	----------------	-----	------

取組状況

鎌倉三大緑地のひとつである台峯緑地に囲まれ、自然に恵まれた本校では、中学1年生を中心として、その豊かな自然を利用した環境教育を行っています。まず、中学1年時に学習する理科では、「身近な植物の観察」を学校の敷地内の広い野外にて行います。そこでは、近頃の子どもたちにとっては珍しい様々な「野草」を観察することができます。また、夏には野辺山合宿を行い、登山を通して北鎌倉とは異なる自然に接していきます。そして学年末には「北鎌倉の景観を後世に伝える基金」のボランティアの方々に講師をお願いし、北鎌倉の山歩きを行います。身近に自然を感じることができ、耕地から自然に戻った遷移も実際に見ることができます。こうして一年を通して自然本来の姿を理解し、人間と自然の共存を学ぶ機会としています。

他に中学3年生が水質調査（COD）を学校周辺の野外、小袋谷川にて行います。そして生物実験室には、以前鎌倉市よりいただいた「鎌倉メダカ」が飼育展示されています。また科学部は、環境保全課で主催している酸性雨調査に毎年参加しています。高校1年生は学園内の芝地の植生調査も行っています。



中学1年 山歩きの様子

学校名	鎌倉女学院中・高等学校	代表者	錦 昭江
取組状況			
中1：「富士五湖周辺自然観察」で、2泊3日で次のような研修を行い、環境学の基礎として、自然に関心を持ってもらいました。			
第1日			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士湧水の里水族館にてワークシートを用いた淡水魚の観察 ・ インストラクターの解説を聞きながら、青木ヶ原樹海ウォーク 			
第2日			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットボトルを使って山中湖の生物を採集 ・ 山中湖畔に落ちている釣り糸の回収 ・ 山中湖をきれいにするための方法について話し合い、班ごとに発表 			
第3日			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨県環境科学研究所及び生物多様性センターの見学 			
中3：「環境」という授業を1年間行い、環境問題について班ごとに調べ、次のようなテーマで発表してもらいました。			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミとリサイクル ・ エネルギー問題 ・ 地球温暖化 等 			
高2：4泊5日の「フィールドワーク沖縄研修」で、事前のリサーチや事後のレポート提出を通して、沖縄の自然や環境問題について学びました。			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前リサーチでは、授業や書籍、インターネットで沖縄の環境問題について学びました。 ・ 4泊5日の研修ではマングローブの観察や海洋生物の観察を通して沖縄の自然を体験的に学びました。 ・ 事後のレポートでは、さんご礁の被害など海洋生物の問題について報告しました。 ・ 英語の授業の中で環境問題に取り組み、カナダの活動家のビデオを観て自分たちの意見を発表し合いました。 			
高3：英会話の授業の中で、4技能を使いながら、プレゼンテーションするプロジェクトの中に環境問題を取り上げ、ディベートをするグループがありました。			
中学生			
次の「土曜講座」で自然観察の仕方を学びました。			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ビーチコーミング」では、材木座海岸の漂流物を観察 			
「バードウォッチング」では、鎌倉八幡宮周辺の鳥の観察			

公立高等学校における環境教育の取組

学校名	神奈川県立大船高等学校	代表者	校長 鈴木 隆広
住 所	〒247-0054 鎌倉市高野 8 番地 1	TEL	0467-47-1811 (代表)
FAX	0467-43-4856	担当者	村井 仁史

取組状況

大船高等学校は、六国見山の中腹に位置し、遠くには富士山や丹沢の山々が、近くには大船の街が一望できます。学校周辺は緑が多く、鳥や虫の鳴き声も聞こえる静かな、自然環境に恵まれた学校です。本校における環境教育に関するさまざまな取り組みの中から、次の4点を紹介させていただきます。

○ ごみの分別と資源化の取り組みを地道に継続しています

大船高校生徒会組織の一つである美化委員会では、年間を通して校内のごみの分別、リサイクル紙の回収、校内美化の促進などに取り組んでいます。今年度は特に学校行事においてゴミの排出削減、分別の徹底化を図るべく、美化委員を通して生徒への啓蒙活動を行っています。

各教室には燃えるごみ、プラごみ、缶、ペットボトル、紙パックなどのごみ箱とともに、リサイクル紙の回収箱を常設しています。紙ごみは捨てればごみだが、回収すれば資源となるという意識を一人でも多くの生徒が持ち、ごみの減量化などの環境問題に関心を持ってもらえるよう取り組んでいます。

○ 家庭科では、環境に関する課題解決授業をおこなっています

2年次には、夏休みに全生徒が自らの生活の中に課題を見つけ、解決に取り組む「ホームプロジェクト」をおこなっています。「ビタミンCたっぷり!ゴーヤの綿をおいしく頂こう」「環境に優しい洗剤について考える」「暑い夏に負けない!食欲増進料理」など、今年度も環境問題に対する生徒自身の取り組みや工夫などに関するレポートが提出されました。それをお互いに発表し合うことで知識や体験を共有し、環境に関する諸問題や解決策等への更なる取り組みのきっかけとなればよいと考えています。

○ 保健の授業で、環境問題について学習しています

保健の授業では、大気汚染や水質汚濁と健康への影響、産業廃棄物やごみの処理、食品衛生の問題などについて学習しています。特にごみ処理の問題では、処理の限界が近づいていること、ごみを資源として再利用すること、そのためにはごみの分別が重要であることなどについて学び、環境問題への関心や意識を高めています。グループ学習では、鎌倉市のごみ処理問題を具体例としてあげ、生徒に考えさせています。

○ 理科の授業で、環境問題について学習しています。

化学基礎では、資源は有限であり物質のリサイクルについての必要性や有効性を、物理基礎では、エネルギーの観点から、効率よいエネルギー生産及び変換についてを学習しています。

学 校 名	神奈川県立鎌倉高等学校	代表者	真壁 広道
住所	鎌倉市七里ガ浜 2-21-1	TEL	0467-32-4852
FAX	0467-31-1669	担当者	教頭 峰 治

取組状況

○「かまくら学」と「協働メニュー」

鎌倉高校では、「鎌倉」を学習の素材として、豊かな教養を身に付けることを目標として、「かまくら学」を1年生の「総合的な学習の時間」を中心に実施しています。鎌倉の歴史や市民活動に関する講演会を開催して鎌倉に関する知識を深め、研究テーマを設定し、夏休みの予備調査や秋の「かまくら探索」などの学習を経て、1月に研究レポートを完成させます。2月には、かまくら学研究レポート発表会を行い、優秀作品は3月の学年発表会で発表され、『かまくら文化研究』に掲載されます。

「かまくら学」では、実際に体験することを重視しています。地域の人達の活動に参加して、その成果をまとめることも一つの研究成果となります。こうした地域の人達の活動に鎌高生が参加できる仕組みのことを「協働メニュー」と呼んでいます。「協働メニュー」は、それぞれの市民団体を中心として、30を超える活動で構成されています。

その中でも、鎌倉のまちづくりや自然保護を行う活動には多くのメニューが用意されています。

鎌倉広町の森の保全活動には多くの生徒が参加し、田んぼの草取り・手入れ、畑の草取り・野菜の収穫、森の手入れ、湿地帯の環境保全活動、散策路の整備・観察などを行います。鎌倉広町の森収穫祭では、広町の森で採れた米、野菜、森の恵みをみんなでいただきます。

また、鎌倉風致保存会の活動に参加して、史跡の草刈りや森林の手入れなどをするとともに、ナショナル・トラスト発祥の地、御谷山林などの史跡としての意義についても学びます。

鎌倉を美しくする会の活動では、腰越海岸や七里ガ浜方面を中心に、夏休みの部活動や講習の登下校時に落書きの発見と通報活動を行います。

○ボランティア活動

「かまくら学」とは別に、地域貢献活動の一環として、草刈りボランティアや海岸清掃のボランティアを実施しています。

事業者による環境教育・啓発活動の実施

- ・節電や省エネ関係のポスターやビラ（行政や上部団体の作成したもの）を駅や社内に掲示し、お客様や社員の意識向上を図っている。【湘南モノレール株式会社】
- ・学校教育支援活動として、出張授業（育むエコ食・燃料電池ってなんだろう）、先生向け研修会（エコ・クッキング）を実施。平成 28 年度の鎌倉市内では、出張授業 12 クラス、先生向け研修会 1 回実施。【東京ガス株式会社】
- ・太陽光発電、風力発電モデルを使った子ども環境教室への協力を実施。【東京電力パワーグリッド株式会社】
- ・LED照明の環境貢献（省エネ性）について、出張講習を実施。（小学校でのLED工作教室実施など）【三菱電機照明株式会社】
- ・行政、団体を対象に、エコ・クッキングの講座を実施。【東京ガス株式会社】
- ・地球環境の維持、森林資源の保全、生活の向上（健康・快適・経済）に繋がる省エネ住宅に関する講義、省エネ性・快適性を体感するモデルハウスの見学会を実施【株式会社イソダ】

第2節 環境教育を実践できる人材の育成と活用

主な事業	事業内容	実績
緑のレンジャー（ジュニア）の育成【みどり課】	自然の生き物や草花とふれあうことで自然に対する意識の高い緑のレンジャー（ジュニア）を育成します。	講座を11回開催。 受講者数延べ364名
緑のレンジャー（シニア）の育成【みどり課】	市民との連携推進の一環として、豊かな兵陵の樹林地を管理する緑のレンジャー（シニア）を育成します。	講座を11回開催。 受講者数延べ143名
アドバイザーの派遣【環境政策課】	環境教育アドバイザー派遣制度により、環境に関する専門的な知識や経験を有する、アドバイザーを派遣し出前授業を行います。	講習会等に38回、229人のアドバイザー及び補助者を派遣。 受講者数延べ2,162名

第3節 環境教育をする場、素材の整備

主な事業	事業内容	実績
緑地の整備促進【みどり課、公園課】	自然とのふれあいのできる場づくりとして、都市公園の整備を行います。	<p>確保緑地の適正整備事業（常盤山特別緑地保全地区）を5回実施。</p> <p>また、※₁社会資本総合整備計画に基づき、鎌倉市吸収源対策公園緑地事業を実施。</p> <p>梶原六本松公園は、用地取得が完了し、開園済み。</p> <p>山ノ内西瓜ヶ谷緑地については一部（実測面積 12,343.34 m²）開園した。平成 28 年度に残る用地の取得が完了したことから、平成 29 年度当初の全面開園を予定している。</p> <p>（仮称）山ノ内東瓜ヶ谷緑地については平成 28 年度に整備工事を実施したことから、平成 29 年度当初の開園を予定している。</p> <p>（仮称）山ノ内宮下小路2号緑地については、平成 27 年度に整備工事を実施した。今後は、都市計画決定の上、残る事業への着手を予定している。</p> <p>（仮称）笛田一丁目公園については、平成 27 年度に整備工事が完了し、開園済み。</p> <p>その他、（仮称）山崎・台峯緑地の整備を予定。</p>
公園の整備促進【公園課】	自然とのふれあいのできる場づくりとして、都市公園の整備を行います。	同上（緑地の整備促進（※1））
ハイキングコースの維持管理【観光商工課】	市民、観光客が豊かな自然に親しむことのできるハイキングコースの維持管理を引き続き行います。	市民及び観光客が利用しているハイキングコースについて、安全で快適な状態に保たれるようにパトロールを実施した。

<p>ビオトープ等の整備【環境保全課】</p>	<p>市庁舎前に整備したビオトープにおける生物の自然な生息を維持し、自然観察の場を提供します。</p>	<p>平成 13 年に隣接する御成小学校の児童とともに市庁舎前の池をビオトープとして整備し、来庁する市民等が身近に自然観察を行える場として維持管理を実施。(夏休み子ども向け自然観察会を実施)</p>
<p>鎌倉メダカの保護【環境保全課】</p>	<p>滑川水系固有の鎌倉メダカを市庁舎前のビオトープで繁殖させ、環境教育の素材として活用します。</p>	<p>市庁舎前のビオトープにて繁殖させた鎌倉メダカを希望する市内小中学校等に譲渡し、生徒等による飼育を通じて、鎌倉メダカの保護及び水生生物への環境教育を実施。 譲渡数：10 匹</p>

環境教育をする場、素材の整備におけるその他取り組み

●生涯学習ガイドブック

＜教育総務課＞

毎年発行している「生涯学習ガイドブック」には、いつでも、どこでも、だれでも、気軽に、どんなことでも学べるように、講座・催し物、自主学習グループ・サークル、生涯学習指導者などの情報が掲載されています。また、この生涯学習ガイドブックでは、自然や環境の分野にかかわりのある講座・催し物・グループ等の情報についても紹介しています。

●教育資料の刊行

＜教育センター＞

学校における学習資料など、環境分野の教材の充実に努めています。小学校 3・4 年生社会科学習資料「かまくら」や中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」、中学校理科学習資料「鎌倉の自然」において、市の環境政策の概要や市内に生息する動植物・地質などについて紹介しています。

●環境に関する図書館資料の充実

＜中央図書館＞

鎌倉市図書館には、環境をテーマとした資料が 3,867 点(図書 3,540 点、雑誌 214 点、AV 資料 113 点)(平成 29 年 3 月現在)あり、市民の環境学習を支援しています。

第4節 環境教育に関する情報提供

●広報かまくら

＜秘書広報課＞

市の情報提供媒体として、原則毎月2回発行している広報紙「広報かまくら」があります。平成28年度中の主な環境関連情報記事として、再生可能エネルギー・省エネ機器等設置に補助金、クリーンアップかまくら開催、清掃施設の理化学検査結果、光化学スモッグへの注意喚起、家庭からの騒音への注意喚起、深夜花火の禁止、ライトダウンキャンペーンの呼びかけ、腹膜透析実施者・ストーマ装具使用者に有料袋を配布、生ごみ処理機直接販売、うちエコ診断、環境調査の結果、こちら環境通信局（連載）、かまくら環境白書発行、環境審議会の傍聴者募集、廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例への意見募集、ごみの持ち込み事前予約制、環境ポスター募集、食品ロス、環境関連イベントの告知などを掲載しました。

●鎌倉ごみ減量通信

＜ごみ減量対策課＞

鎌倉市のごみ減量・資源化施策の紹介する鎌倉ごみ減量通信を、年3回の通常号、また、年1回特集号を発行しました。

●J:COM 湘南

＜秘書広報課＞

ケーブルテレビ「J:COM 湘南」の「鎌倉市からのお知らせ」として、毎月1日～15日、16日～その月の末日の各約15日を1サイクルとして1日4回、週28回の放映を行い、市の環境政策などの様々な情報について紹介しています。平成28年度中の環境関連情報の放送として、食品ロスなどを放送しました。

●かまくらFM

＜秘書広報課＞

かまくらFMの市政情報番組「かまくらじお」でも、市の環境政策などの様々な情報について放送しています。放送は月曜日～金曜日は1日6回、土・日曜日は1日2回です。

●市ホームページ (<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>)

＜秘書広報課＞

インターネットを活用し、環境関連など様々な情報を発信しています。従来、紙媒体で提供していた情報から電子情報への切り替えによる紙資源の節減などを通じて循環型社会の形成に役立っています。

また、生活環境のページ (<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/index.html>) では、「鎌倉市の環境政策」、「環境調査データ集」などのデータのほか、その時々環境トピックスも掲載しています。あわせて環境計画のページ

(<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/kankyouseisaku/kankyoukeikaku/index.html>) では、「かまくら環境白書」などの各計画について掲載しています。

なお、ごみ・リサイクルのページ (<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/gomi/index.html>) でも、「資源物とごみの分け方・出し方」などを掲載し、循環型社会の形成に向けて情報を公開しています。

●facebook ページ（鎌倉市役所日記）

<https://www.facebook.com/kamakuracity.hisyokoho>

＜秘書広報課＞

主に行政情報をお知らせしている鎌倉市役所日記は、省エネに関する講座、市内の清掃・環境保全活動などを掲載しています。鎌倉市役所日記自体の更新頻度は、市役所開庁日であれば月4回以上ですが、環境に関する催し物の開催日時等によって、随時更新しています。

●秘書広報課 twitter (https://twitter.com/kamakura_koho)

＜秘書広報課＞

市ホームページのトップページある「お知らせ」欄や広報かまくらに掲載された情報を、秘書広報課の twitter にも掲載しています。twitter には掲載できる文字数に限りがあるので、市ホームページのアドレスを掲載し、詳細は各ページで確認できるようにしています。

●Youtube (<https://www.youtube.com/user/KamakuraOfficial>)

＜秘書広報課＞

市の公式アカウントで、J:COM 湘南で放送していた市政情報番組「鎌倉市からのお知らせ」や市長記者会見などを掲載しています。平成 28 年度中は、食品ロスについての動画を公開しました。

●市民便利帳

＜秘書広報課＞

市民便利帳は市役所の窓口などの行政情報や日常生活に役立つよう作成された冊子で、2016-2017 年版は平成 29 年 2 月に発行しました。冊子中ほどにある特集ページでは、ごみ減量への取り組みを掲載し、特集ページに続いて行政ページでは、資源物の収集方法や生ごみ処理機の助成制度などを掲載しています。

■各主体との連携

●環境保全団体活動に対する支援

〈環境保全課〉

市では、市内の環境保全団体の自発的な活動を促進するための支援策として、環境保全に関する学習会等を行う場合に講師を派遣する助成のほか、活動における通信費の負担を軽くし、より多くの環境保全情報を提供するため、環境保全団体の会員の方への会報などを郵送する通信助成を行っています。さらに、環境保全団体が実施する催しについての後援も行っています。後援の内容は、後援名義の使用承認、催しの施設提供、「広報かまくら」への掲載及び必要な電話の取次ぎなどです。なお、これまでの実施状況は表9-6のとおりです。

表 9-6 環境保全団体に対する支援の実施状況

年 度	通信助成		講師派遣助成		後 援	
	団体数	支援実績	団体数	支援実績	団体数	支援実績
平成 24 年度	5	737 通	—	—	4	5 回
平成 25 年度	4	501 通	—	—	3	3 回
平成 26 年度	4	413 通	—	—	1	1 回
平成 27 年度	4	310 通	—	—	1	1 回
平成 28 年度	3	243 通	—	—	1	1 回

●市内環境保全団体等の活動状況

〈市民・事業者〉

市内には、自然保護、美化、環境教育など環境保全に関する様々な活動を行っている市民団体があります。

これらの団体から平成 28 年度の活動内容を報告してもらい、原文のまま掲載しました。

鎌倉を美しくする会	会員数	24名	代表	高田晶子
活動目的	バス停ベンチ維持活動・落書きゼロ・散乱ごみのない美しいまちづくり			
【活動の内容】				
バス停ベンチ維持活動と周辺見回り				
<ul style="list-style-type: none"> ・下馬四つ角バス停ベンチ破損：脚部が折れ修理不能のため廃棄。スケボー練習台に何度も乗り上げた傷があり被害届を警察に提出。まだ十分に使えたのにとても残念。 ・手広バス停ベンチ(鎌倉方面)：2台設置した内1台破損しその後現物が行方不明。心無い人による被害が相次ぎました。 ・鎌倉学園イター-ア外部の協力で円覚寺前バス停ベンチ5台を磨きました。(恒例) 				
特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・7/13 神奈川県警察本部長・神奈川県知事宛要望提出「落書きの防止と犯人検挙に向けた対策をお願いしたい」両者とも、これまでも増して格段の協力が得られるようになりました。 ・11/15 鎌倉市主催シンポジウム開催 鎌倉生涯学習センターホール：「落書きゼロのまちづくり」代表が基調講演とパネリストを務めました。 ・久光製薬から助成金10万円を頂きました。「わがまちボランティア活動推薦制度」で稲村ガ崎在住の方だとわかりました。市民の方に当会の活動を共感評価して頂き、最高の名誉でした。その用途は次年度ご報告致します。 				
落書き(貼り紙含む)発見と除却活動				
<ul style="list-style-type: none"> ・通年パトロール。平成21年度スタートした市との「落書きのないまちづくり」協働事業は8年経過。10年以上書いている少数の常習犯の犯行は続いています。落書き月次報告による情報を共有した結果、警察、行政(県・市)、市民団体との連携が揺るぎないものになりました。 ・ネットワークも築かれ、県、東電、事業者、市民の努力が効を奏し、発見次第対処する仕組みも出来、鎌倉市では常に落書きゼロが保持しています。しかし神出鬼没一気に大量書きする常習犯の犯行に悩まされています。 ・七里ガ浜海岸擁護壁の大量落書きは七里ガ浜高校野球部生徒さんの協力を得て消しました。落書きは早期発見、早期消去に尽きます。日常のパトロールも欠かせません。 ・現在落書きの約半数が鎌倉地区、全体の約4分の1が腰越地区、2001年当初手がつけられない程ひどかった大船地区は約5分の1と商業地域の割には少なくなっており、長年継続の活動と地道なデータの集積が物語っている特記すべき事実です。 				
啓発美化活動				
<ul style="list-style-type: none"> ・落書きされない街づくりまち磨き：かまくら認知症ネットワークと連携活動 <ul style="list-style-type: none"> 8/7：鎌倉駅地下道通路の大判タイル壁を水拭きしピカピカ磨きをしました。 10/2 10/25：若宮大路横須賀線両サイド通路の大判タイル壁を水拭き。 ・5月3日～5日若宮大路とその周辺：観光客が特に多い連休に散乱ごみ防止の活動をしました。報告書を市長はじめ観光協会、商工会議所、関連部署に発信しました(恒例)。 				

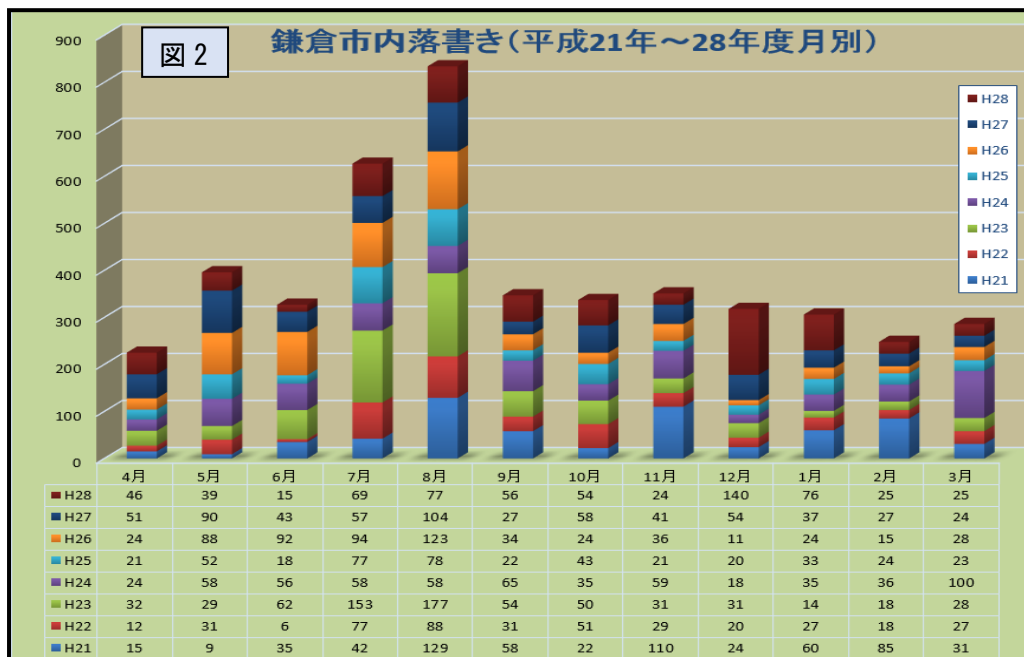
- 7/19：県立鎌倉高等学校落書き発見隊対象講話
- 2015年から「鎌倉市役所の隅をきれいに」をテーマに、市民の財産である市役所一角の維持管理の在り方について、当会の視点で提案し続けている事案は、行政と市民の信頼関係の中で改善され、効果を上げています。

平成21年度～平成28年度地区別落書き件数一覧表とグラフ（貼り紙含む）

図1：鎌倉市内5地区で最も多いのは鎌倉地区59%、腰越、大船、玉縄、深沢の順です。商業地区の大船16%は、初期のひどさを思えば誇れる数字です。また鎌倉市内店舗のシャッターが落書きゼロを維持していることは、あまり知られていませんが、日中人目につかないシャッターの落書き消去を夜、早朝に取組んだこと、落書きゼロに取組んだ結果、常習犯の仕業だとわかったこと、常習犯自身書きづらくなったことが挙げられます。呼び水になりやすいシャッターの落書きをゼロにすることは、犯罪の抑止力になることの証明とも言えましょう。

	鎌倉地区	腰越地区	深沢地区	大船地区	玉縄地区	合計
平成21年度	262	113	9	95	21	500
平成22年度	270	74	13	38	22	417
平成23年度	215	259	12	165	28	679
平成24年度	227	182	23	140	30	602
平成25年度	227	71	16	105	13	432
平成26年度	477	32	30	53	1	593
平成27年度	485	23	41	41	37	627
平成28年度	469	88	6	72	11	646
地区別合計	2632	842	150	709	163	4496
%	58.54	18.73	3.34	15.77	3.63	100

図 2：平成 21～28 年度落書きの月別経年変化です。月別にばらつきはありますが、海水浴シーズンの 7、8 月は特に多いことがわかります。昨年は観光商工課が、シーズン用の掲示板をごみ箱の周辺に立てられたので、例年よりぐんと少なくなりました。落書きチェックには多くの目が必要です。海水浴場巡回の方にも、落書きチェックの協力を依頼するなどの施策もあればより効果的だと思います



団体名	かまくら環境会議	会員数	32名	代表者	大道不二子
活動目的	自然保護、調査活動、環境啓発、環境学習支援、学習会、情報発信				
<p>【活動の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鎌倉市の河川維持管理協力団体として、扇川の生物・水質調査を原則として奇数月の土曜日に、水部会を中心に年5回実施しました。その他、ホテルの観察会を2回（扇川 関谷川で開催しました。また、扇川の清掃及び草刈を5回行いました。 ○ 2月に学習会を開催し、講師の山田稔さんに「海の生き物の雌雄」についてご講演頂きました。 ○ 3月に見学会として、環境教室「岩瀬の里山ウォーキング」を実施しました。 ○ NPOセンターフェスティバルに展示参加し会のアピールをしました。 ○ まち美化運動連絡会に参加し、美化活動に協力しました。 ○ 4月と9月に神戸川環境調査を実施しました。 ○ かまくら環境保全推進会議に団体委員として参加し、市の環境政策推進に協力しました。 ○ 会報「エコ・コミュニティ」を3回発行しました。 ○ 石原谷戸と関谷川の環境調査を2回実施しました。 ○ 6月25日に総会を開催し、総会終了後、山田稔さんに「クジラの話」のご講演をいただきました。 ○ 5月と12月に海岸調査を実施しました。 ○ 9月に2回、第一小学校の川の環境教室に協力しました。 ○ 8月に赤手カニ観察会に参加しました。（豆腐川） ○ 10月に関谷小学校の環境教室に参加しました。 ○ 行政主催の環境教室に協力しました。 <p>【活動の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○扇川の水質・生物データを市に提供し、共有することができました。 ○環境教育では、市民や子供達への支援をすることで、啓発の一端を担えました。 ○行政や企業、また他の市民団体との協働により、意識の共有ができました。 ○環境保全やまち美化に貢献できました。 					

団体名	特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会	会員数	235名	代表者	相川明子
目的	鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観や多彩な動植物を保全する市民活動				
<p>【活動内容】</p> <p>「鎌倉中央公園」第一工区開園(1997年)以来、運営協力してきた谷戸ボランティアの会10団体の各活動を継承し、準備会議を重ね2004年4月に全面開園に合わせて行政との協働で本会を発足させました。2008年4月より特定非営利活動法人団体となりました。</p> <p>当会は7つの活動班①田んぼ班(湧き水を利用した伝統的作業の米作り)②畑班(根菜・豆・麦等を中心に、堆肥を利用した循環型の無農薬農法)③雑木林管理班(下草刈りや間伐などの雑木林の手入れなど)④農芸班(農産物・谷戸資源の加工)⑤自然遊び班(農作業の手伝いを含む子どもの自然遊び)⑥生態系保全班(動植物の観察や調査、小動物が住みやすい環境作り)⑦植物育成班(谷戸に自生する植物の保護、育成)を設け、この班活動を中心に鎌倉中央公園内の谷戸において、昔ながらの農林作業や保全作業を行いながら、谷戸の景観と自然生態系を守り育て、里山の復活再生を目的としています。</p> <p><年間の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7つの班により、季節に応じた保全活動を実施(270回) そのうち、70回は公園協会との協働事業 ・事務局の運営(木曜を除く毎日6時間、交代制で実施)、一般市民、各種団体の問い合わせ対応・案内、行政交渉、広報活動、各メディアからの取材対応、谷戸パトロール、各班の平日補助作業等 ・谷戸まつりを開催し(年2回)、公園で収穫した農産物や加工品を会員・一般市民に頒布 ・会報の発行(年6回) 谷戸塾開催(全56回 内訳: 田んぼ・畑・雑木林管理班の作業各49回、谷戸講座7回実施)環境省主催モニタリングサイト1000里地調査・事務局員向け勉強会開催 <p><行政、公園海浜課、公園協会との協働など></p> <p>鎌倉市共催10周年フォーラム開催、10周年フォーラム展示(地下ギャラリー)、公園利用者懇談会出席(1回)、鎌倉中央公園管理運営協議会出席(1回)、3者協議に出席(4回)</p> <p><主要事業及び公園協会との協働事業></p> <p>理事会(3回)、谷戸まつり(2回)、お泊り里山体験、活動連絡会議の開催(1回/月)、「ホタルの紙芝居」とパトロール、春の七草・どんど焼き</p> <p><体験学習の受け入れなど></p> <p>鎌倉市環境政策課・環境アドバイザーに登録し、学校との連携を深めています。毎回、事前に学校、担当者間で打合せ、実施後は担当者・体験学習スタッフ間で反省会を行い、活動記録を作成しています。子ども達のふりかえり(感想文)と活動記録をもとに、活動の充実化に努めています。深沢小学校5年生 特別支援教室ひだまり 富士塚小学校5年生 風致保存会主催の中学生保全活動(深沢中3年生 玉縄中3年生)その他、深沢小学校教員補助作業、鎌倉市保育士講座、富士塚小教員補助作業を行いました。西鎌倉幼稚園観察会をしました。</p> <p><他団体の受け入れなど></p> <p>自然環境復元協会主催 若手ボランティア(かまくらレンジャーズ 親子レンジャーズ 企業日立グループ保全活動受け入れ)・PHD研修生 谷戸体験・かまくら子育て支援グループ懇談会と共催 かまくらママ'Sカレッジ「サトイモとどろんこ」・青空自主保育「やんちゃお」保全活動・青空自主保育「にこにこ会」保全活動・青空自主保育「なかよし会」保全活動・県職員研修・鎌倉市職員研修・かまくら認知症ネットワーク「かまくら</p>					

散歩」・JR東日本「鎌倉山崎・森人の会」 保全活動・「命を守る南相馬防潮堤」プロジェクト 鎌倉山崎・森
びとの会 保全活動 日本環境教育フォーラム シニア自然大学講座

<他団体への訪問・交流・会議出席など>

山崎の夏祭り協力・深小ふれあい広場にて炊き出し・かまくら子育て支援グループ懇談会・鎌倉女子大共
催の「かまくらパパ・ママカレッジ」に展示発表・長寿社会のまちづくり・テーマ型ワークショップ」鎌倉市主
催 参加・神奈川県自然保護協会 50 周年記念交流会 参加

<PR・展示活動>

NPOセンターフェスティバル参加・鎌人いち場参加・NPOセンター地下道ギャラリー展示・かまくら子育て支援グ
ループ懇談会鎌倉女子大共催の「かまくらパパ・ママカレッジ」にパネル展示

<取材・掲載>

鎌倉FMで毎月第2第4水曜日の朝「おはよう かまくら」にライブ出演・KCTV(年間数回)

<農産物の寄付提供>

梶原山町内会、寺分丸山子ども会、福島避難者交流会、第3地区社会福祉協議会、高齢者ケア施設など

団体名	鎌倉の自然を守る連合会	会員数	6自治・ 町内会会員 3,900世帯	代表者	中原 攻
活動目的	<p>① 連合会（8自治・町内会）は25年にわたり、広町緑地の開発反対運動を展開し、その開発を阻止し保全を獲得した成果をふまえ、同緑地の都市林公園の構築・管理運営に寄与し、これを次世代に継承していきます。（自治会・町内会の数は、多少の増減あります）</p> <p>② 広町緑地の保全・維持・管理活動に参加・支援し、周辺自治・町内会の住民に、広町緑地の関連情報を提供し、意見を集約し、都市林公園の管理運営に反映させます。</p>				
<p>【活動内容】</p> <p>1) 都市林公園構築に参画——広町緑地の都市林構築に関して、基本構想、基本計画、基本設計及び実施設計に関与し、広町周辺の連合会加盟自治会・町内会の意見を集約し、反映させてきました。今後とも、よりよい都市林とするため、広町緑地の管理運営に、地元住民の立場で参画していきます。</p> <p>2) 広町緑地に関する加盟自治・町内会の意見吸収し、鎌倉市、指定管理者や関連団体との意見交換を行い、要望の実現を図ります。「鎌倉広町緑地懇話会」のメンバーとして発言しています。</p> <p>3) 各種イベントを通して、地域住民や子供達が広町緑地と親しむ機会を設けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2土曜日の午前中、「広町ウォーク」を開催して、周辺住民が広町を訪れる機会を設けています。 ・毎年4月と10月、「広町の草花を愛でる会」を開催。広町の自然や桜・草花などに親しむ機会を設けます。 ・毎年6月、各自治会で行う「ホテル鑑賞会」の開催の支援を行います。 ・毎年1回、「広町で遊ぼう」を開催。子供達が広町の自然と遊ぶ機会を作り、当連合会内及び隣接の子供会にも、呼びかけ、親子で参加する機会を設けます。 ・一般の人々が参加できる機会を作ると共に、緑を守る活動に参加する人の裾野を広げたいと思います。今後共、上記の各イベントは、加盟自治会以外の人々の参加も受け入れていきます。 <p>4) 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連合会ニュース」を年2回程度発行し、加盟自治会・町内会全世帯（約4000世帯）に配布しています。「連合会ニュース」は、連合会の最も有力な広報活動になっています。ホームページも設置しています。 ・「広町の森ガイドブック」を2012年3月発行し、広町緑地の自然、維持活動、緑保全の歴史など、広町緑地全般情報を提供しました。加盟自治・町内会全所帯に、各1冊無償配布し、鎌倉市図書館にも寄贈しました。 <p>5) 広町緑地の保全運動の歴史をとりまとめ、他の地域の自然保護運動に資するよう提供すると共に、次の世代の人々にも伝承するための活動を行っています。</p> <p>①2008年12月、広町緑地開発反対運動の25年間の歴史をまとめた本「鎌倉広町緑地はかくて守られた」を、発刊しました。鎌倉市・県・国並びに周辺の学校等に寄贈すると共に、連合会関連の希望者に有償配布しました。（連合会として合計1000冊以上を寄贈及び有償配布しました。）</p> <p>②2015年5月、広町の運動史の詳細版として、「鎌倉広町緑地保全運動史—25年にわたる市民運動の記録と資料」（CD付）を編纂し発行しました。これは、鎌倉市・県・国及び全国の県立図書館等（国立国</p>					

会図書館を含め計63冊)並びに主な大学(計70冊)などに合計150冊を寄贈しました。①の本と共に、広町緑地保全運動の記録を、次の世代にも伝えると同時に、全国の緑・環境保全に関わる人々への参考に提供しました。

- 6) 渉外活動——必要に応じて各自治・町内会との交流をはかると共に、市や関連団体との情報交換を行います。
- 7) 広町緑地の保全・維持・管理活動への協力——広町5つの会(田んぼの会、畑の会、森の会、自然観察の会、散策路の会)に、広報等で支援・協力しています。実作業は、各個人がボランティアとして参加しています。

【活動の成果】 — 上記の【活動内容】と同じ内容を、毎年実施しています。

以上

団体名	鎌倉広町緑地友の会	会員数	199名	代表者	大橋 圭介
活動目的	ナショナルトラスト運動で鎌倉の緑地保全を目的とする				
【活動の内容】					
<p>1. 保全に関する事業</p> <p>平成28年4月からは、広報かまくらに行事予告を載せていただき、5月には広町の桐と藤の花を訪れるハイキング、6月には広町のゲンジボタル観察会、7月には広町の半夏生を訪れるハイキング、9月には広町緑地歴史散歩、12月には晩秋の広町緑地散歩、平成29年3月には広町の桜を訪れるハイキングを開催いたしました。</p> <p>参加者からは鎌倉緑地保全基金への寄付金をいただき、7月に1万円、12月に2万円、市みどり課を通して寄附をいたしました。</p> <p>参加者には、広町緑地保全までの歴史、保全者のボランティア活動の内容を説明し、生態系を豊かにする活動への参加を呼びかけ、その後、数は少ないのですが、活動に加わって下さる方が出ています。</p> <p>また、近くの幼稚園・保育園の園児と保護者に、田畑の農作業を体験してもらう事業、それらの体験を作文に書いてもらう事業をしました。</p>					
<p>2. 普及・研修事業</p> <p>広町のボランティア活動を行っている5つの団体に会員は参加し、それぞれのイベントに協力しました。</p>					
<p>3. 交流・協力に関する事業</p> <p>全国組織のみどりの少年団は神奈川県には6つあり、そのうちの1つが鎌倉みどりの探偵団で、会員は200余名です。その毎月の行事に協賛支援をしています。</p>					
【活動の成果】					
<p>子どもたちが喜ぶ姿を見て、保護者の方々が、NPO法人鎌倉広町の森市民の会に加入します。この会が唯一、広町緑地の生態系をゆたかにする大きな団体であり、この団体を私共が強力にしていくことに成果をあげています。</p>					

団体名	鎌倉の海を守る会	会員数	役員20名 (会員システムを とっていないため)	代表者	河合涼太
活動目的	鎌倉の海浜とその周辺の自然環境及び景観を保全しできるだけ人工の手を加えず後世に伝えることを目的とする。				
<p>【活動の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 会報発行年2回（4月、12月）。 • 5/5 ビーチクリーンアップ：会の活動で最も長いものの一つ。1997年以来、市内海岸全域で年2回行っています。 • 5/21 浜の植物を楽しむ会：七里ヶ浜海岸の鎌倉高校前駅から稲村ヶ崎公園までの間と隣接地を歩いて、市内海岸でほとんど失われた浜の植物群落を観察しました。海と陸の接点に生育し潮風や飛砂を防ぐ役割を担っている海岸性植物の重要性を知り、分布状況をモニタリングして、より多くの方に関心をもってもらうことを目的としています。 • 7/23・8/7 豆腐川アカテガニ観察会：夏の繁殖時期に河口に下りてくるアカテガニの生態について学び、大潮の満潮の時間帯に行われる放仔(産卵)の様子を観察しました。 • 9/22 ビーチクリーンアップ：秋のビーチクリーンアップでは、世界ゴミ調査キャンペーンの一環で回収ゴミの集計もあわせて行っています。 <p>【活動の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビーチクリーンアップ：5月の参加人数は市内海岸8カ所の受付合計で1002名、配布ゴミ袋数は、可燃ごみ袋739枚、不燃ごみ袋631枚。9月は雨天により中止。 • 浜の植物を楽しむ会：鎌倉高校前～峯ヶ原では、国道134号線の工事で海岸植物の生育地が消滅したが、工事現場の周辺にハマヒルガオなどの海岸植物がわずかに生き延びている。七里ヶ浜では、西田幾多郎の碑の周辺で、工事後数年を経てハマヒルガオなど海岸植物が復活し始めていた。七里ヶ浜～稲村ヶ崎間で、テリハノイバラの最後の一株が見られた。 • 豆腐川アカテガニ観察会：7/23、数年前からカニの数が減少しており、この日は河口付近は1匹、上流部にも数匹、放仔も見られなかった。8/7も、見られるアカテガニの数は少なく小さい個体のみで、放仔は見られなかった。 					

団体名	認定NPO法人 鎌倉広町の森市民の会	会員数	748人	代表者	平岩 由夫
活動目的	① 鎌倉広町緑地(「都市林公園」)について、市民の意見を集約して事業に反映し、後世に伝える。 ② 広町緑地の保全・維持管理・利用に積極的に参画・参加及び支援し、市民主体の自立した運営組織の確立を目指す。 ③ 都市林の維持管理活動を通じて自然環境の保全に取り組み、生物多様性の重要性を広く啓発する。 ④ 広町緑地の諸活動を通じて、次世代の育成と青少年の環境教育を支援する。				
<p>[活動の内容]</p> <p>1. 活動方針(基本姿勢)</p> <p>① 現場活動の更なる強化及び現場活動要員の育成・強化を図る</p> <p>② 会員とのコミュニケーションの充実と組織・財政基盤の強化を図る</p> <p>③ 都市林公園の市民主体の一体的な維持管理保全の体制を確立するため「5つの会」と共同で関係管理団体と協力し、指定管理体制を推進する。</p> <p>④ 保全活動及び利用者の「安全確保のための体制」を推進する。</p> <p>⑤ 近隣の自治会及び関連団体等とのコミュニケーションを充実し、その意見の反映と活用を推進する</p> <p>2. 活動内容</p> <p>(1) 市、広町緑地関連市民団体との連携により設立した「5つの会」の保全活動を推進する。</p> <p>① 樹林地の手入れ、植樹、等—「広町森の会」(2回/月)</p> <p>② 田んぼ復元の維持管理と谷戸の乾燥化防止を推進—「広町田んぼの会」(4回/月)</p> <p>③ 畑の復元の拡張と作物の多様化—「広町畑の会」(4回/月+α)</p> <p>④ 樹林地及び谷戸の動・植物の観察と生育環境の整備—「広町自然観察の会」</p> <p>⑤ 緑地内の散策路の整備と樹名板の設置の推進—「広町散策路の会」(2回/月)</p> <p>⑥ 各会による協働活動:収穫祭の開催、谷戸の乾燥化対策、安全対策、等</p> <p>(2) 市民の会の独自の活動を推進する。</p> <p>① 公園事業への市民の意見の反映及び維持管理活動のための用具の購入・管理</p> <p>② 緑地保全・維持管理のための「広町パトロール」(1回/週)</p> <p>③ 活動リーダー・要員育成のための「広町から学ぶ会」(2回/月)</p> <p>④ 「かまくら緑の探偵団」の運営(定例会:1回/月)と次世代の育成</p> <p>⑤ 各種イベントの開催(数回/年)と広町緑地のガイド(随時)</p> <p>⑥ HP広報等広報啓発、市民の会ニュース(隔月)、広報誌:広町の風(季刊)、広町花図鑑の発行</p> <p>⑦ 「広町緑地への道順と散策マップ」を西鎌倉駅と御所谷入口に設置</p> <p>⑧ 小・中・高校の生徒を対象とする「環境教育(総合学習など)」への協力(随時)</p> <p>⑨ 理事会開催(1回/2ヶ月)、五つの会連絡会(1回/2ヶ月)</p> <p>⑩ ホテル時期に合わせて、事務所トイレ延長化に伴う入口案内の実施、(週末土日)</p> <p>(3) 広町緑地都市林公園の維持管理に向け、市民主体の自立した管理運営をするため「5つの会」</p>					

と共同で関係管理団体と協力し指定管理活動を推進する体制を整備した。

[活動成果]

1. 保全・維持管理の活動の活発化と体制の強化
 - ① 谷戸の田んぼ、畑の復元の拡大。森の手入れの区域の拡大
 - ② 植樹祭、田植祭、収穫祭などを通じて子供や一般市民の参加が増加
2. 近隣小学校、中学校及び高校の生徒の環境教育の受入れの定例化
3. 「5つの会」と一体になった「鎌倉広町の森市民の会」に体制を強化し、指定管理関連業務を推進する体制を確立した。「安全管理委員会」も設置し、ボランティア活動グループ「広町5つの会連絡会」の設置や近隣自治会・関連団体との懇談の推進を進めた。
4. 広町緑地ガイドの強化のため一般市民向け「広町 里山さんぽ(藤と大桐・やまゆり・ゲンジボタル・ヘイケボタル、蝶、野鳥等の鑑賞等)」を継続している。
5. 広町緑地の管理を、市民の会と鎌倉公園協会が共同して運営するパートナーズが行うこととし、市民の会が「5つの会」を運営し、その行う事業の範囲を定め、谷戸風景に配慮した田んぼと畑の保全と活用、外周部を除く樹林地内及び園路沿いの除草と枝払い、ホタル、カエル類、ホトケドジョウ及び水環境等の自然環境調査、園路等施設のパトロール、施設の清掃及び簡易的な修繕等を、市に提出した事業計画書により、都市公園法の手続きに準拠して行っている。

団体名	鎌倉自主探鳥会グループ	会員数	150名	代表者	岩田晴夫
活動目的	自然観察、自然保護、水質・動植物調査、環境教育、エコアップ作業、政策提言				
<p>【活動の内容】</p> <p>私達は、(公財)日本野鳥の会の神奈川支部の趣旨に基づき、野鳥を通じて自然に親しむと共に、自然の保護と住環境のアメニティーの向上をはかることを目的として活動を実施しています。</p> <p>① 一般市民対象の定例自然観察会「鎌倉自主探鳥会」を毎月2回実施しています。 自然観察の精神と方法の普及、自然観察会リーダーの養成、地域的な自然保護活動の促進、都市公園と緑地のエコアップ(生息環境向上)を図ること等が目的です。コースの途中、佐助川の清掃・エコアップ・水質と水生生物調査、佐助稲荷のエコアップ(1993年5月～)、源氏山公園の野鳥用水場の清掃、台峯緑地と鎌倉中央公園の動植物調査やエコアップ(1993年5月～)等の作業を実施。</p> <p>② 源氏山公園の野鳥誘致施設の管理(1984～)をしています。</p> <p>③ 鎌倉市傷病鳥獣保護搬送システムへの協力を委託されています(1993～)。</p> <p>④ 平成6年以降、鎌倉市から鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)指導員の委嘱を受け、鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)の活動を年間10回指導しています。</p> <p>⑤ 鎌倉市道水路管理課から道路・河川維持管理協力員の委嘱を受けています(1997～)。 佐助川のエコアップ活動・水質調査・水生生物調査・清掃・草刈り等を実施しています。</p> <p>⑥ 鎌倉中央公園の管理運営協力団体として、鎌倉中央公園の管理に対し、既存の野生動植物ができるだけ保全されるように、基礎データを提供すると共に、具体的な方法を提示し、エコアップ作業と環境モニタリング調査を実施しています。</p> <p>⑦ 「鎌倉の海岸動植物の生息分布調査」をかまくら環境会議・鎌倉市緑のレンジャー指導員と協力し、鎌倉市の後援を得て実施(1996～)し、海岸動植物の保護策を提言しています。</p> <p>⑧ 神奈川県藤沢土木事務所による坂ノ下の災害復旧工事後のモニタリングを継続実施し、貴重種の保護と管理上の留意点を助言しています。</p> <p>⑨ (財)日本野鳥の会の全国一斉ガンカモ調査に協力(1月)しています。</p> <p>⑩ 鎌倉市内を春秋に通過するタカ類の渡り調査、鎌倉市内の自然環境台帳作り、酸性雨調査、河川の水質と水生生物調査、緑地のモニタリング調査等を実施しています。</p> <p>⑪ 自然保護団体や自治会・学校関係の自然観察会等に講師を派遣しています。</p> <p>⑫ 鎌倉メダカの系統保護を図ると共に、市役所前のビオトープ池の管理・モニタリング調査に協力しています。</p> <p>⑬ 鎌倉市のアライグマとタイワンリスの防除実施計画に協力しています。</p> <p>⑭ 神奈川県藤沢土木事務所による柏尾川の護岸整備工事に際し、野生動植物の生息環境保全の面から助言を行なっています。</p> <p>⑮ 貴重種に指定されている野鳥の繁殖環境保全に係わる自然環境調査を実施。</p> <p>⑯ 環境省が絶滅危惧II類(VU)に指定し、保護マニュアル作成のため実施中の生態調査に協力。</p>					

【活動の成果】

鎌倉中央公園の湿性花園内に既存動植物の保全区域を維持している。主要緑地における環境モニタリング調査と湿地環境のエコアップ作業を継続しています。近郊緑地保全地区や開園後の夫婦池公園等の自然環境調査結果から、神奈川県と鎌倉市の管理・整備に対しアドバイスし、既存の野生動植物の保全に寄与しました。ニホンザル・イノシシ・キツネ等の“離れ”個体に係る情報をまとめ、県と市の関係機関に提供しました。附属小学校のひょうたん池のエコアップ作業を指導しました。梶原7号緑地の調整池の整備について助言しました。特定外来生物のガビチョウの巣1個を駆除しました。

団体名	鎌倉ボランティアクラブ	会員数	1176名	代表者	中村 和夫
-----	-------------	-----	-------	-----	-------

活動目的	まちの美化活動
------	---------

【活動の内容】

1. まちの美化活動

三菱電機(株)鎌倉製作所及びインフォメーションシステム統括事業部、関係会社(6社)*1の有志を募り、通勤で利用している工場周辺道路を隔週で清掃する「通い道クリーン活動」を行っています。本活動は03年度より開始し、従業員の美化活動への意識の高揚を図っています。

また、鎌倉市が共催する「クリーンアップ鎌倉2016」にも有志を募り積極的に参加しています。

【活動の成果】

(1) 定量的な成果

- ①通い道クリーン活動 : 2016年度 合計1,176名参加
- ②クリーンアップ鎌倉 : 2016年度(春・秋) 合計196名参加

(2) 環境への効果

タバコの吸殻やゴミを拾う清掃活動により、工場周辺の美化維持及び公共河川の汚染防止が図られています。また、鎌倉市の美化活動にも貢献しています。

(3) その他の成果

クリーンかまくら条例の「事業者の責務」を実践することにより、従業員へのより一層の条例周知へとつながっています。



*1: 関係会社

三菱電機エンジニアリング(株)

三菱電機特機システム(株)

三菱プレジジョン(株)

菱電湘南エレクトロニクス(株)

三菱スペース・ソフトウェア(株)

菱栄テクニカ(株)

団体名	NPO 法人鎌倉リサイクル推進会議	会員数	141 名	代表者	大貫 玲子
活動目的	ごみ発生抑制、減量や資源化の市民意識の啓発、廃棄物の再利用促進活動を推進				
<p>【活動の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆かわら版の発行（毎月） ◆ホームページの毎月更新 ◆鎌倉市の市民啓発活動への協働参加 10 回 ◆リサイクルに関する相談アドバイス等 <p>○展示部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆常設展示(通年) ◆リサイクル作品展 11 月 14 日～11 月 29 日 ◆鎌倉地下道ギャラリー展示 6 月 14 日～6 月 20 日 ◆ クリスマス展示（11 月 30 日～12 月 21 日）年末年始展示（12 月 22 日～1 月 30 日） <p>○環境部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆かわら版（行事予定とその内容案内）毎月発行 ◆鎌倉リサイクル通信「ラ・ラ・ラ」（会の活動紹介）26 号発行（年 1 回発行） ◆情報シート NO. 59 号発行（リサイクルに役立つ情報提供）年 1 回発行 ◆研修：エコプロダクツ（12 月） ◆回収拠点：ペットボトルキャップのリサイクル 765kg(1～12 月) ◆見学会 鎌倉市ごみ処理施設見学会鎌倉市資源回収協同組合、テクノトランス 笛田リサイクルセンター ◆学習会 「3R は地球を救う エコな暮らしはリユースで」講師 山本善政氏 <p>○イベント部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆リサイクルマーケット（5 月、7 月、9 月 尚、今年 11 月はエコフェスティバルと重なり実施しなかった） ◆こどもリサイクルマーケット（7 月リサイクルマーケットと同時開催） ◆古着・古本リサイクル市（年 1 回 3 月） ◆リメイク作品販売コーナー（5、7 月） <p>○生活の知恵部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全 191 教室を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみ減量教室 8 回 ・ リサイクル手芸教室 58 回 ・ 衣類お直し教室 22 回 ・ 裂き織り教室 27 回 ・ 手軽な織物教室 15 回 ・ 廃食油で石けん教室 3 回 ・ 修理修繕教室 6 回 ・ 衣類リフォーム教室 25 回 ・ リサイクル工作教室 14 回 ・ 布ぞうりづくり教室 6 回 ・ その他教室 22 回 <p>（注：活動内容は鎌倉市からの受託事業と自主事業を合計したものです）</p>					

【活動の成果】

事業実績は受託 174 回・2,353 人、自主事業 81 回、2,853 人、併せて 255 回の事業を実施し、参加人数は延べ 5,206 人でした。

〔特記事項：不用品登録協働事業（愛称：リユースネットかまくら）〕

本会とNPO法人シチズンネット・鎌倉市の三者による協働事業。
市民の「譲ります」「譲ってください」の情報をインターネットに公開。
その橋渡しの活動。

登録申し込み 1,475 件 ・ 応募 2,017 件 ・ 成立 1,088 件

●古着古本などのリサイクル

特定非営利活動法人 鎌倉リサイクル推進会議では笛田リサイクルセンターを会場に、不用になった品物を必要な人が再利用できるように、各種のリサイクルマーケットを開催しています。

平成 28 年度の開催したマーケット等の実績は表のようでした。

表 リサイクルマーケット等の開催状況

イベント名	実施日	実施内容	来客者数
リサイクルマーケット・ こどもリサイクルマーケット	平成 28 年 5 月 22 日、 7 月 25 日、9 月 25 日、	出店数 合計 102 店舗	合計 1,220 名
古着古本リサイクル市	平成 29 年 3 月 26 日	古着 寄付数 1,149kg 取引数 834kg 古本 寄付数 3,348 冊 取引数 2,088 冊	300 名
20 周年記念 エコフェスティバル	平成 28 年 11 月 27 日		400 名

団体名	湘南・省エネネットワーク	会員数	8名	代表者	前島 仁
活動目的	地球温暖化防止および省エネルギーの広報・教育・普及・調査等の推進				

【活動の内容】

1 広報事業：カレンダー配布・省エネ講演会・省エネ家計簿

- ・省エネカレンダーを30部制作して、家庭で毎月の省エネ目標と行動について省エネアイテムをチェックして実施するように配布しました。
- ・省エネ講演会を6月26日に開催して、「家庭での夏の省エネ」を講演して、省エネの取り組みポイントを指南しました。(12名受講)
- ・省エネ家計簿を30部配布して、省エネ講座への参加者へ家庭での電気とガスについての省エネへの取り組みを促進しました。

2 教育事業：小中学校への環境教育・出前講座

環境教育として市内の小・中学校での児童・生徒へ省エネルギーについての理解を深めるための出前講座を合計6回開催しました。

- ・私立清泉小学校で4年生の3クラスを対象に「地球温暖化防止と省エネルギー」を1月30日に出前講義しました。(110名受講)

学習教材として省エネ実験キット(白熱電球・蛍光灯・LEDランプの比較実験)、温湿度計110個配布して室内の温度測定を実習しました。

- ・鎌倉市立手広中学校の体験講座で1～3年生を対象に「家庭での省エネとエコクッキング」の出前授業を2回実施しました。(20名受講)

6月9日にゴーヤ苗60個配布してグリーンカーテンづくり、10月20日に温湿度計10個配布して室内の温度測定を実習しました。

- ・鎌倉市立第二中学校で1年生から3年生の全校生を対象に「エコスクールづくりと省エネルギー」を講演しました。(210名受講)

また、環境教育の実施効果測定・評価方法を新たに開発して、講義の実効性を向上するために有効なツールとして活用するようにしました。

〈私立清泉小学校および市立手広中学校での省エネ授業、市立第二中学校での省エネ講演会の光景〉



3. 普及事業：省エネ説明会・報告会の開催

- ・省エネ説明会を11月6日に開催して、「冬の省エネに取り組む」とLED電球による省エネ照明について説明しました。(7名受講)
- ・省エネ報告会を3月18日に開催して、市民の方々から「家庭での省エネ実践結果」が報告されました。(9名受講)

家庭で工夫されて模範的な取り組みをされた方から省エネ実績・実施内容等について紹介され、取り組み成果の共有と交流を図りました。

従って、省エネ実践講座は講演会・説明会・報告会を合計3回(受講者28名)開催しました。

〈省エネ実践講座の説明会および報告会の光景〉



4. 調査事業：省エネシート集計と省エネ関連動向調査

- ・省エネ実践講座に参加された方から報告された省エネシートを集計して、省エネ実績・実施内容などについて分析、調査しました。
- ・クレジット認証について、Jクレジット、排出量取引など経済的インセンティブ方策について国内の自治体等での実施事例を調査しました。
- ・新炭素革命(蓄電池・EV、有機EL等)、電力・ガスの自由化動向、電気とガスの優位性比較、除湿と省エネなどを調査しました。

5. 地域貢献：鎌倉市への協力・会員の諸活動

- ・鎌倉市立大船中学校改築検討協議会(事務局：学校施設課)の環境部門での検討委員として参画し、8月に低炭素型の校舎が完成しました。
- ・鎌倉市の「かまくら環境保全推進会議」(事務局：環境政策課)の委員として参画し、会合に出席して環境政策を提言しました。
- ・鎌倉市まちづくり審議会(事務局：まちづくり推進課)の市民委員として参画し、市長の助言(案)について環境保全等を提言しました。
- ・鎌倉市環境部環境政策課が募集した「エネルギー基本計画」改定のパブリックコメントについて多岐にわたって提言しました。

【活動の成果】

市民を対象とした省エネ実践講座および児童・生徒を対象とした省エネ出前講義を合計9回開催して368名の方々が広く参加されました。受講後は家庭での省エネルギーの実践に取り組まれております。

団体名	かまくら桜の会	会員数	32 名	代表者	高柳 英麿
活動目的	鎌倉市の木であるヤマザクラを中心に、市内の桜の保持、育成、市民へのPR活動を行う。				

【活動の内容】

◆植樹

かまくら桜の会は、市内の桜を大切に思い活動しているグループと個人が集まり、平成20年に発足しました。以来、行政や日本花の会、日本さくらの会のご指導を頂き、市内各所に植樹を行っています。28年度は下記の場所に植樹をしました。

・11月25日・・・本覚寺(小町) 桐ヶ谷桜 10本



◆若宮大路の桜手入れ

かまくら緑の会より引き継いだ若宮大路のサクラの手入れを、毎月第2木曜日に行っています。草刈り、水やり、施肥などの作業を行っていますが、近年は特に弱った木が目立ちます。

そのような場合は専門家の指導を頂いて適切な処置をとり、管理する藤沢土木事務所へ連絡をするなどしています。

◆視察・見学

鎌倉市内をはじめ他の市町村の緑や自然環境の様子を知ること、また会員同士の親睦を深めるために行なっています。

4月に若宮大路観桜会、4月上旬は各地域の桜まつり、11月に宮ヶ瀬ダム見学などの催しを行い、会員や参加者に好評でした。

◆講演会ほか

10月11日・・・「桜を学ぼう」 17日「桜を増やそう」(生涯学習センター)

3月6日～・・・「鎌倉の桜」写真展(カトレヤギャラリー)

3月24日・・・「禅と食とタチヒガン」(浄智寺住職) (生涯学習センター)

3月31日・・・「桜ウォーキング」(鎌倉山から七里ガ浜)

【活動の成果】

市内にはたくさんの桜愛護の会、桜愛好家のグループがあり、それぞれが地域で活動しているので、活動の様子について情報交換を行い、各会の活動の様子、互いに協力できることの確認をしています。そのため各地域の桜の話題も増え、活動も活発になって来ています。

今後も植樹や手入れに力を入れ、桜の文化を楽しみながら学んでゆきたいと思います。